

残念！教育に力を入れたのに 教材にお金をかけられない日本の現実 —解決法考えました。

The Paradox in Japan: Strong Commitment to Education,
Yet Little Investment in Teaching Materials- Here's a Solution

日時

2025年10月16日 

16:15～17:00

会場

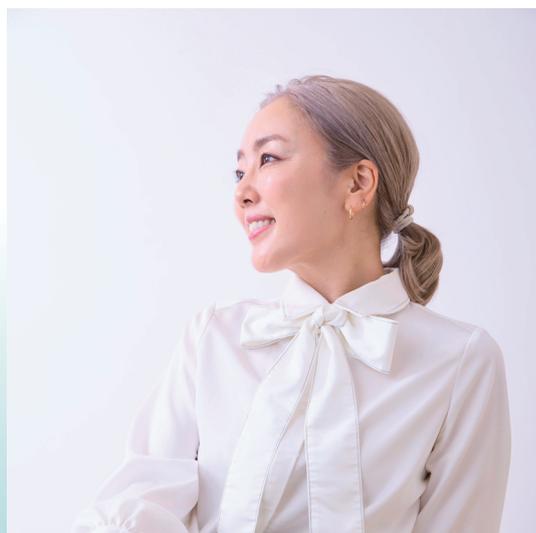
ライカ南国ホール Lika-Nangoku

第3会場 5階 Room B

座長

株式会社レーマン代表取締役

永田 徳子 tokco



生成AIの出現により、文章、イラスト、映像などあらゆる創作分野が大きな変革を迎えている。しかし、その中で唯一「正確性」が最重要となる医療・医学教育の分野では、AI任せの自動生成がまだ実現していない。CTやMRIなど医用画像を対象としたAIは既に多数存在するが、**臨床や教材として使用可能な水準の恒常的な正確性を備えた**メディカルビジュアルコンテンツの生成AIは、2025年現在も世界的に社会実装されていない。教育や患者説明において誤ったビジュアルは致命的であり、“**誰が・どのように・何のために制作したか**”こそが価値となる。また海外では、正確性に加えて美しさや表現力も強く求められる。ドイツ、北米、カナダでは古くから専門クリエイターの育成が行われ、近年は韓国や中国での人材育成が著しい。背景には論文や学術情報のオンライン化によってビジュアルが著者評価に直結する国際的潮流がある。一方、日本では教育環境や定義が曖昧で、出版業界の低迷も重なり、メディカルビジュアルの価値理解は海外に比べ著しく低い。だからこそ基礎教育の現場では、**医師とメディカルクリエイター®**が協働し、正確性が担保された教材を整備することが不可欠である。我々はこの課題を解決すべく、**誰もが容易に高品質コンテンツへアクセスできる**革命的アプリケーション「**MEDITOR®**」を開発した。

第34回 日本形成外科学会基礎学術集会

会長：門松 香一（昭和医科大学 形成外科 主任教授）